

第111回HSE (Health care Sales Engineer) セミナー開催のご案内

次回調剤報酬改定に向けた1年がスタートしました。すでに新聞でも取り上げられていますが、「地域密着型薬局の新設」という情報も出ています。2025年に向けた改定もあと3回、医療介護同時改定は1回となります。今年は消費税増税に伴う「薬価改定」も控えています。例年のない慌ただししい1年となることは言うまでもありません。

今回の1講義目は、今年最も注目される「薬機法改正」について、検討部会の委員でもあり薬局・薬剤師に多くのメッセージを送ってくれた方を講師にお呼びいたしました。半年以上にわたる議論から薬剤師が置かれている立場、求められるエビデンスについてお話を聞いてみたいと思います。厳しい言葉の裏に隠されている「薬局への期待」に気が付かなくてはなりません。

2講義目には今後一層の注目を浴びる「食べること」について考えます。薬局でも管理栄養士の採用が進んでいますが、まだまだ職能が発揮されているとまでは言い難いです。しかし、医療介護の現場では「食べること」に着目した管理栄養士の活動が注目を浴びています。管理栄養士のポテンシャルを理解し、地域のニーズを発掘することで薬局とのシナジーを生み出します。今回は注目される高齢者の栄養ケアについて実践を踏まえた報告です。

3講義目は「消費税増税」についてです。薬価は内税となっており、増税に伴い、薬価の引き上げが行われます。例年はそうでした。しかし今回は増税分の補填とは別に、薬価調査に基づく薬価の引き下げが同時に行われます。すでに中医協の部会を通過し国費400億円の削減をされると言われています。2018年、2019年、そして2020年の連続薬価改定(引下げ)の脅威が襲って来ます。これは一体何を意味するのでしょうか。経営の原資である薬価差益が圧縮されていることに気が付いているのでしょうか。そのほか、設備投資等に係る消費税も変わってきます。薬局経営は「下りのエスカレーター」にたとえられます。上り続けなければいけない。変化する経営環境を理解し、危機感を持つ。そんな意識を皆さんと共有したいと思います。

HSEセミナーは業界唯一の薬局経営セミナーと自負しております。引き続き皆様と一緒に「本物の薬局・薬剤師」を考えていきたいと思っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

4月の開催日は19日・20日になります。

【開催日】 2019年3月15日(金) 13:00~17:00

《17:15より懇親会(会費5,000円)を企画しております》

16日(土) 9:00~12:00

【内 容】

● 3月15日(金)

「今こそ問われる薬局薬剤師の真価」

山口 育子 氏 (認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長)

「活用しよう!地域社会での栄養支援」

江頭 文江 氏 (地域栄養ケアPEACH厚木 代表)

● 3月16日(土)

トレンド分析(押さえどころ!)

駒形 和哉 氏 (株式会社Kaeマネジメント 代表取締役)

「調剤薬局の増税対策ABC」

船本 智睦 氏 (京都紫明税理士法人 代表社員 税理士)

【参加費】 50,000円(消費税別)

* 上記参加費は単月参加の費用となります。

* 継続の場合は御相談下さい。

【場 所】 ・ リロの会議室 田町 「会議室G」

東京都港区芝5-26-24 田町スクエア 6階

<参加対象者>

医療機関、介護・福祉事業、薬局の経営者、製薬企業マーケティング担当者
医薬品卸経営相談及び経営企画担当者、医療・介護事業参入予定者など

株式会社^{カエ}Kaeマネジメント

連絡先: TEL 03-5829-6659 FAX 03-5829-6679 seminar@kae-management.com

主催: 株式会社Kaeマネジメント 後援: 一般社団法人日本薬局経営学会

第 101 回「薬局未来塾」開催のご案内

お陰様で、この「薬局未来塾」も 100 回を超えた。そこで皆さんに問いたい「今のままで薬局に未来などあるのだろうか」と。薬局の経営を指導する立場にありながら、昨今の若手経営者の考え方や行動を見てみると、はっきり言って厳しい時代を乗り切れるのかといたくなる。特に二世経営者には経営者としての自覚と覚悟が感じられない。このままではいけない。もちろんもって生まれた資質の部分も大きいかもしれない。しかし、そんな事など言うてはいられない。現実に自らが経営者である。資質がないと自覚しているなら早いうちに売ってしまった方がいい。

今回は未来に向けた経営者としてのあり方を皆さんと考えてみたい。経営者としての魅力とは何か。判断力の源になるものは何か。経営者に必要なマネジメント力を養うために。

4 月は新年度を迎える会社が多い。そんな中で自らの覚悟を強く持ち、経営者としての意識と将来を見据えた行動を学んで欲しい。甘ったれるな！ 嫁に気を使うな！ 社員に気を使い過ぎるな！ 世の中は甘くはない！

日 時： 3月16日（土） 午後12時15分から14時
（昼食を取りながらのランチ形式です。）

会 場： リロの会議室 田町 「会議室 G」
東京都港区芝 5-26-24 田町スクエア 6 階

会 費： **3,000 円** （*会費は食事代と会場費となっております。）
※参加費は当日会場にてお支払いをお願いいたします。

テーマ： 経営者としての自覚をとすとは何か？

- ・ 経営者に必要な資質
- ・ 常に自分との闘い
- ・ マネジメント力とは
- ・ 判断力を磨く
- ・ 「ことだま」は現実になる

駒形 和哉 氏 （株式会社 Kae マネジメント 代表取締役）

※HSE セミナーに参加していない方でも参加歓迎いたします。

10 年先を読むキーポイント

- ・ 「患者のための薬局ビジョン」とは、現状は患者のためになっていない反省なのか？
- ・ 2017 年度の「骨太の方針」にある「患者本位の医薬分業に向けて」とは何を意味する
- ・ 増えすぎる医薬品の問題から多過ぎる薬局の問題に変わった
- ・ 「薬中心の業務」から「患者中心の業務」への転換は調剤料を直撃するのか
- ・ 薬価の毎年改定は業界全体を揺るがす変化となる
- ・ 2025 年には全ての薬局が「かかりつけ薬局」になっている
- ・ 「かかりつけ薬剤師指導料」が薬局経営の柱になる
- ・ 「健康サポート薬局」に込められた国の期待とは何か
- ・ 2016 年度は“減収減益”に陥った潮目の年
- ・ 厚生労働省を動かす「閣議決定」に将来が見えてくる
- ・ 早すぎる ICT 化が医療の仕組みを変える
- ・ 超高齢者社会は「通院が困難なもの」と「認知症」への対応に注目
- ・ 地域包括ケアは在宅による多職種連携がカギを握る
- ・ ドラッグストアの処方せん獲得が激化する
- ・ M&A がどこまで寡占化を進めるのか

第 110 回セミナー参加申込書

FAX : 03-5829-6679

E-mail : seminar@kae-management.com

| | |
|---------|---|
| フリガナ | |
| 氏 名 | |
| 会社名 | |
| 部署名 | |
| 住 所 | 〒 |
| 携帯電話番号 | |
| メールアドレス | |
| 備 考 | |

※ 単月の方に後日御請求書を送付させていただきます。

次回、開催日は2019年4月19、20日になります。

懇親会のご出欠

懇親会のキャンセルにはキャンセル費をご請求させていただきます。

| | |
|-----|-----|
| 御出席 | 御欠席 |
|-----|-----|

薬局未来塾のご出欠

| | |
|-----|-----|
| 御出席 | 御欠席 |
|-----|-----|

■会場

* 2017年10月より会場を変更しました *

リロの会議室「田町」会議室G

東京都港区芝5-26-24
田町スクエア6F (旧 東京機械本社ビル)

JR田町駅より徒歩3分
都営三田線・浅草線田町駅A3出口徒歩2分



※未来塾単体のお申し込みの方は、「未来塾のみ」と備考に記載くださいませ。